

[過去5年間の選択式の数字を絡めた出題頻度・・・5問中]

	労基	労災	雇用	社1	労1	健保	厚年	国年	計
平成29年	1	3	2	2	1	2	5	3	19
平成28年	1	3	0	3	2	3	0	3	15
平成27年	1	0	4	2	0	5	3	3	18
平成26年	0	3	5	2	0	3	2	2	17
平成25年	1	2	3	3	1	4	4	2	20
計	4	11	14	12	4	17	14	13	89

・労働基準法には、労働安全衛生法が2問含まれています。

過去5年間の選択式問題の中で数字を絡めた選択肢の出題頻度です。

5年間で89／200ということで、約45パーセント、半数近くが数字を絡めた選択肢ということになります。

科目別に見ると、労働基準法と労務管理その他の一般常識の出題頻度が低いため、労基、労1以外の科目は、例年5問中2問から3問が数字に絡んだ選択肢ということになります。

具体的な数字の使われ方は、

%や割合、金額、生年月日、日数、期日や日付け等々多岐に渡ります。

選択式の学習方法は、択一式の学習の中で数字をしっかり理解して覚え込むことが、選択式対策にもなります。

数字を覚えていくことは、合格のために避けて通ることはできません。

しっかり覚えてしまうと、正誤も容易に判断することができます。